

6. 東海（地域別調査機関：三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (東海)		-	-
		商店街（代表者）	・東京オリンピックが近づいて、ますます良くなっていく。
		商店街（代表者）	・販売地域、販売場所、それに商品が良ければ、売上は増加する。
		一般小売店〔書店〕 （営業担当）	・夏期に向けて客の予算が活発に動き出す時期に入る。
		百貨店（販売担当）	・テナントビル、自店の販促施策に加え、インバウンド需要の高まりが期待できる。
		百貨店（販売担当）	・前月同様、前年は超えていないが、母の日ギフト等はバレンタインのギフトほど悪くなかった。
		スーパー（総務担当）	・気温の上昇もあるが、そうめん等夏物商材の売行きが良い。
		コンビニ（エリア担当）	・店舗の品ぞろえを強化できるように抜本的な施策を6月以降実施する。夕夜間の米飯、ファーストフードや総菜類の品ぞろえを強化し改善する。
		コンビニ（エリア担当）	・天候も良く夏場に向かって更に活発化していく。盛夏が楽しみである。
		コンビニ（店員）	・暑くなり始め、冷たいドリンク、アイスクリーム類や麺類が売れる。
		コンビニ（商品開発担当）	・前年と比較し気温上昇が予想されており、飲料やアイス等の売上は増加する。
		コンビニ（本部管理担当）	・当社の加盟店では来客数が低調なため、世間の財布のひもは固くなっているようにも思われるが、客観的にみれば、株価が安定してきたこと、政権の右往左往が落ち着いてきたことに鑑み、景気は良くなる。
		乗用車販売店（経営者）	・今後はボーナス商戦や新型車種の投入で需要増加が見込まれる。
		乗用車販売店（経営者）	・ガソリン代に関しては、これ以上の悪化はない。
		乗用車販売店（従業員）	・全体的には良い。徐々に良くなっていく方向である。
		乗用車販売店（販売担当）	・世間の注目を集めている新型車種の発表があった。かなり注目されており来客数も増加し、販売量も増加する。
		乗用車販売店（営業担当）	・ボーナス期の上昇に期待したい。
		乗用車販売店（営業担当）	・年末まで定期的に新型車種、特別仕様車の発表を控えている。
		スナック（経営者）	・多少予約が入っており、期待している。
		旅行代理店（経営者）	・天候が良くなり観光旅行へ出掛ける人が増えている。
		旅行代理店（経営者）	・特に悪い材料はない。少しずつでも良くなる。
		旅行代理店（経営者）	・夏休みや家族層の旅行は、最低1泊から6泊くらいまでのプランが期待できる。当地区ではこの夏チャーター便の海外設定が多く、今後の定期便への期待が懸かっている。客にどんどんアピールして販売していきたい。
		タクシー運転手	・最近のガソリンの値上げも気になるが、2～3か月後はボーナスシーズンでもあるので、5月よりは良くなると期待している。
		その他レジャー〔スポーツレジャー紙〕 （広告担当）	・微妙だが、国際情勢が安定化に向かう。
		美顔美容室（経営者）	・8月からキャンペーンが始まるので、セットでの購入があり売上が増加する。
		美容室（経営者）	・5月が悪かったので、6～7月は良くなる。
		美容室（経営者）	・夏休みやボーナス等、行事が出てくるので、財布のひもが緩む。
		商店街（代表者）	・ターミナル駅周辺の売店の好調ぶりに対して、郊外店の不調が顕著に表れている。
		商店街（代表者）	・相変わらず必要な物以外には目もくれない。
		商店街（代表者）	・これ以上悪くなることはないが、良くなる要素も全くない。米朝会談の結果如何では世界景気が悪くなる可能性もあり、予断を許さない状況である。
	一般小売店〔高級精肉〕 （企画担当）	・今後の不安材料が多い。	
	一般小売店〔結納品〕 （経営者）	・今の流れだと良くなる気配がない。	
	一般小売店〔土産〕 （経営者）	・夏休みには当地でインターハイの開会式並びに一部競技等があるが、盛り上がりは一過性とみられる。	

一般小売店〔生花〕 (経営者)	・足元の傾向はしばらく続く。現状維持が精一杯で、今後伸びる要因は見つからない。
一般小売店〔酒類〕 (経営者)	・飲食店へ来店するきっかけになる材料がない。
一般小売店〔贈答品〕 (経営者)	・贈答品関係では、先行きを考えて無駄遣いをしない傾向が続いており、その状態が変わらない。一部の大手企業は金を使うが、逆に自粛する会社も増えてきており、全体としては変わらないが、金を使えるところと使えないところが明確になり、3か月先もどちらかといえば財布のひもは固い状況が続く。
一般小売店〔果物〕 (店員)	・3か月ほどでは変わらない。
一般小売店〔和菓子〕 (企画担当)	・経済面、社会面で国内外に余りにも不安要素があり、先行きが見えない。
百貨店(売場主任)	・高額商品は売れないが、国産の2万円前後のビジネスシューズが主に売れている。高齢者の来店はあるが、百貨店の靴は高いということでカジュアルシューズは伸び悩んでいる。全体的に波があり、平均すると良くも悪くもない。
百貨店(企画担当)	・売上は前年同月を超えることが多くなってきたが、売上の内訳をみるとインバウンドのシェアが高まり、全体のマイナスをカバーしている状況であり、景気が良くなっているわけではない。
百貨店(経理担当)	・今後景気が良くなるという材料は余りないが、インバウンド効果による売上増加が少しずつ表れているので期待している。
百貨店(販売促進担当)	・景気が下振れする要因も見当たらず、当面このままの景況感が継続する。
百貨店(経営企画担当)	・寒かったり、暑かったり、局地的な豪雨等天候が不安定な状況で、その日の天候が来客数に大きく影響し、売上高への影響も懸念される。
百貨店(計画担当)	・5月の動向をみても変調要因は見当たらず、しばらくは堅調に推移していく。
スーパー(経営者)	・8月頃の輸出には相変わらず問題があるが、自動車関連の部品が順調に伸びている。企業は、石油と原材料が高くなり利益面では若干悪くなる。まだ実行はされていないが、米国の輸入関税の引上げが我が国の輸出企業にも影響し、少々弱くなる時期である。EUでもイタリア、スペイン、ポルトガルは景気が悪くなってきている。今年は各企業とも夏休みが長くなり、稼働率が低下し生産性は下がるが、景気そのものは変わらない。
スーパー(店長)	・近隣の競合店との競争も激しく、良くなっていくとは感じにくい。
スーパー(店員)	・買い控えする雰囲気は感じないが、特売品等必要最低限で済ませる傾向ではある。
スーパー(店員)	・良くも悪くもない。この状況がずっと続いている。
スーパー(販売促進担当)	・今後、大きな雇用対策、減税等がなければ個人の収入が増えず、購買意欲が高まらない。
スーパー(支店長)	・梅雨時や夏前の消費鈍化は毎年のことで避けられない。夏に向けて起爆剤が必要である。
スーパー(商品管理担当)	・梅雨次第であるが、猛暑が長く続かないことを願う。景気自体には直接的な変化はないと考えている。
スーパー(ブロック長)	・野菜の相場安、魚介類のアニサキスの報道やガソリンの値上がり等、良い材料が見当たらない。
スーパー(販売担当)	・平日に店舗企画のチラシを入れる等、日曜朝の来客数が平日にも波及する策を考えるので、その効果が出ると良い。
スーパー(販売担当)	・景気が良くなるとも、ならないとも、判断が全くつかない。
スーパー(経営企画担当)	・特に変化が起こる要素はない。6月は梅の入荷、販売に期待したい。
スーパー(営業企画)	・客単価が上昇し始めているが、景気に支えられている感じはなく、先行きに期待はもてない。
コンビニ(エリア担当)	・来客数は前年同期比で変わらないが、客単価が下落しており、セール品以外に反応がなくなっている。ガソリン価格の上昇等の影響もあり、客がコンビニに金を落とすのは、余り期待できない。
コンビニ(店長)	・コンビニエンスストアの競合チェーンの店舗が増加していることが原因で、来客数が増加する要素が見当たらない。苦しい状況が続く。
衣料品専門店(経営者)	・今はバーゲンセールでも気に入った物しか買ってもらえない。仕入れは慎重にするつもりである。

衣料品専門店（販売企画担当）	・全体的に薄利多売の商品ばかり動く傾向にある。
衣料品専門店（売場担当）	・クリアランスセールの実施により、多少の売上増加は見込めるかもしれないが、景気による影響とは考えにくい。
家電量販店（店員）	・商品の問合せや見積りがそれほど多くない。
家電量販店（フランチャイズ経営者）	・5月の売上に鑑みると、景気がすぐに良くなるとは思えない。ただ、気温の上昇により夏物商材の売行きに期待したい。
乗用車販売店（営業担当）	・北朝鮮の問題が解決されるとしても、景気にプラスになる要因が余り見当たらない。ガソリンも高値が続く。
乗用車販売店（経営者）	・為替の動向、人材不足感等、不透明な要素が大きく、大きな買物については様子見の状態である。
乗用車販売店（従業員）	・北朝鮮の問題は良い方向に向かいかけているが、明らかに日本は蚊帳の外である。この状態が今後どうなるかが大きい。余り良くない状態のまま続く。
乗用車販売店（従業員）	・高齢者の方による交通事故に関心が高まっている。誤動作防止装置搭載等の事故防止対策や運転疲労軽減装置等、車両買換えの客への切り口はたくさんあるが、まだ財布のひもは固く、景気が上向いてきたという言葉は聞こえてこない。
乗用車販売店（従業員）	・他社も含めて、マイナーチェンジやボーナスキャンペーンを展開し、業界全体で盛り上げる準備は整っているが、購買層にどこまで響くかは不透明である。ガソリン価格の高騰、装備や機能が充実した車の高額化といった要因や、維持費は少なく、買換え期間は長くという客の声が多くなってきているのも不安要素である。
住関連専門店（営業担当）	・住宅、店舗を含めたリフォーム工事は増加しているが、新店舗、新築住宅やマンションの分譲住宅共に動きが鈍い。
その他専門店〔書籍〕（店員）	・夏休みに入り子供の客が増えるので、イベント等多数企画し呼び込もうとしているが、なかなか売上に直結しないのが実情で、本離れということもあり書店は厳しい。
その他専門店〔貴金属〕（営業担当）	・このまま6月の閉店に向けて販売量は増加するが、3か月後は宝石を買い控える人が増加し、今と変わらない。
高級レストラン（経理）	・来客数が前年同期を割る店舗がある一方で、大きく伸ばしている店舗もある。店舗運営、商品政策次第での一進一退が当面は続く。
一般レストラン（経営者）	・いまだに世界情勢の動向が不安定で、消費マインドが安定しない。
一般レストラン（従業員）	・1年を通してほとんど変わっていない。
その他飲食〔仕出し〕（経営者）	・起爆剤がないと、なかなか難しい状況は変わらない。
その他飲食〔ワイン輸入〕（経営企画担当）	・当面は現状の景気の良さを維持するが、海外情勢による為替の急変等といった出来事で、潮目が変わるかもしれない。
都市型ホテル（従業員）	・予約数から横ばいと判断する。
都市型ホテル（営業担当）	・引き続き好調で推移する。
都市型ホテル（総支配人）	・引き続きホテルの開業があるため、宿泊は厳しい。一方で、リネンサプライは5月より20%値上げとなり、コスト負担が増大している。
都市型ホテル（経理担当）	・前年並みの予約状況である。
旅行代理店（営業担当）	・取扱額、件数は今のところ例年並みの見込みである。
旅行代理店（営業担当）	・サッカーワールドカップ、米朝首脳会議の進展等、良い話題が多くあり、景気が後退する要素は見当たらない。夏休みの旅行需要もまずまずの申込みがある。夏場は団体旅行は減少するが、スポーツ関連の旅行需要が例年より多く、景気は好調をキープしていく。
タクシー運転手	・何か月も夜の繁華街の出入が少ない。客からも、経営者からも景気が良くなったという話は聞いたことがない。このような状況が1～2年前から続いている。週末も人が出ていることもなく、先が不安である。
通信会社（企画担当）	・ボーナス期を控え、そろそろ上向いてくる時期であるが、政治や社会の混迷がもたらすモヤモヤ感から、余り好転しない。
通信会社（サービス担当）	・アナログ電話に比べてIP電話の価格は安い。客は回線費用とのトータルの価格をみるので、もっと低価格な料金プラン等がないと、他社サービスへの乗換えによる解約が増える。
通信会社（営業担当）	・現状の状態が当面続く。

テーマパーク職員（総務担当）	・好転する要因が見当たらない。
観光名所（案内係）	・富士山の5合目に5月初めから6回ほど行っているが、観光客は非常に少ない。これからの夏場に向かって、この状況は余り変わらない。
ゴルフ場（支配人）	・夏期に入り、暑さ、梅雨や台風等天候に大きく左右されやすくなる。しかし、7月の予約数はほぼ順調で、8月においても前年同月比ではかなり上回っている。天候が良ければ期待できる。
その他レジャー施設 [鉄道会社]（職員）	・新規観光列車を投入するが、既存客が伸びない状況では景気の上昇は期待しづらい。
その他サービス[介護サービス]（職員）	・繁忙ではあるが、依頼される加工品は設備導入等、作業効率の改善が困難なため、利益が上がりにくい。
住宅販売会社（従業員）	・営業受注が不調傾向だが、何とか横ばい状態である。
住宅販売会社（従業員）	・金融機関の住宅融資担当者では、融資案件は特に増えていないとのことである。
その他住宅[不動産賃貸及び売買]（経営者）	・新築物件は売行き好調だが、中古物件がなかなか決まらない。ただし、住宅診断等で付加価値が高まり、少しずつ伸びる。
その他住宅[室内装飾業]（従業員）	・個人の建築住宅、企業の事務所改装や工場拡張、アパート等のリフォーム工事等、各種分野から見積依頼や発注が継続してきている。ここ数か月はこの状態が続く。
商店街（代表者）	・暑くなってくると、購買意欲は鈍ってくる。
百貨店（経理担当）	・地政学リスクに伴う世界経済と国内の企業業績の悪化が懸念されるとともに、原油高による家計の圧迫が消費の減退を招く。
百貨店（業績管理担当）	・主力の衣料品の売上は前年割れが続く苦戦中である。夏のクリアランスセールも盛り上がり欠け、前年並みの数字が精一杯の状況が見込まれる。
スーパー（商品開発担当）	・足元の売上は良かったが、依然として来客数が伸び悩んでいる。前年に対して100%を切ることが多く、来客数が回復しないと売上の回復も継続していかない。
コンビニ（企画担当）	・売上の低調に加え、アルバイト採用も困難な状況が続いており、必要経費も増加し続けている。
コンビニ（企画担当）	・今の政権が揺らいできている以上、緩和や特区等の景気の停滞が、東京オリンピック終了後よりも早まる。
コンビニ（エリア担当）	・より一層ドラッグストアやスーパー、同業他社との競争が厳しくなる。
乗用車販売店（経営者）	・定期点検を欠かさず行う客も、少しずつ間隔を広げて、出費を抑える傾向が見受けられる。
乗用車販売店（従業員）	・新型車種の発売等も今年度はなく、新規ユーザーが見込めないため、今ある現行車を自社客に買換え促進していくしかない。
その他専門店[雑貨]（店員）	・米国との貿易関税問題が不確定である。
一般レストラン（経営者）	・景気が良くなる様子は見当たらないが、社会に対する不安材料が多い。
一般レストラン（経営者）	・毎年夏場は販売量が減少する。例年冬場の7割の売上で、やや景気は悪くなる。
観光型ホテル（経営者）	・この先も、大河ドラマの観光客の反動減が出てくるので、やや悪い状況が続く。地域経済においても特段変わった様子はないが、原油高や流通関係の値上がりで景気を冷やして、企業業績が悪くなったり消費面で出控えや買い控えがあると、サービス産業としてはすぐに影響を受けるので懸念される。
観光型ホテル（支配人）	・前年同月比で、宿泊数は余り変わりはないが、一般宴会の受注が8割程度であるため、全体としてはやや悪い。食堂売上の右肩下がりに歯止めがかからない状態である。
都市型ホテル（経営者）	・国際情勢や現在の国内の政情等には不透明感があり、先が見えない。
旅行代理店（経営者）	・6月にサッカーワールドカップが開催され、開催期間中は個人客の動きがかなり鈍くなる。
通信会社（営業担当）	・新型モデルが出て爆発的な伸びはない。
通信会社（営業担当）	・異動の時期が落ち着き、多少は客の動きがなくなる。
テーマパーク（職員）	・前年より学生団体客の予約が減少している。
パチンコ店（経営者）	・機械の規制により遊技人口が減少している。
理美容室（経営者）	・給与も上がらず、段々景気は悪くなっていく。
美容室（経営者）	・当地域は若い人口が減少している。これから先、良い方向にはいかない。

	その他サービス〔介護サービス〕（職員）	・介護保険サービスの福祉用具貸与において、全国平均単価をもとに貸与価格の上限設定がある。他の介護保険サービスと異なり、地域加算のない福祉用具貸与に、全国平均値で価格に上限を設けるのは納得し難い。	
	住宅販売会社（従業員）	・ボーナス次第ではあるが、物価上昇が懸念されるため客の動きは鈍る。	
	その他住宅〔住宅管理〕（経営者）	・中古住宅のリフォームが増加しているが受注単価は上がらず一層厳しくなる。来月には材料原価も上がるので、件数が減少しても、工事単価は値上げになる。まだまだ厳しい状態が続く。	
	×	商店街（代表者）	・来客数がほとんどなくなってきた。通販の影響が大きい。
	×	コンビニ（店長）	・処分品等低単価の商品はそこそこ売れるように、節約志向はかなり強い。
	×	理容室（経営者）	・景気の良い話はない。5月の後半は厳しかった。
	×	設計事務所（経営者）	・新規の計画案件もほとんどなく、実施設計までのタイムラグを考えれば、かなり厳しい状況になる。
	×	住宅販売会社（経営者）	・所得水準が低下する一方で物価が上昇しており、住宅の購入者に負担のしかかっている状況である。
企業 動向 関連 (東海)	-	-	-
		化学工業（営業担当）	・2～3か月後には、販売製品へ値上げ分の価格転嫁が完了し、適正価格で販売できている。
		金属製品製造業（経営者）	・引き合いが増加しており、良くなってくる。
		輸送用機械器具製造業（製造担当）	・ボーナスの時期が近づいてきている。
		建設業（役員）	・大手自動車メーカー系の企業が多い地域で、企業の景気も良い。また、これからの消費税の引上げを考えるとユーザーの動きが活発化する。
		通信業（総務担当）	・直近で燃料代が1リットル当たり2円程度上昇したが、個人消費の動向には全く影響がないとみている。家族に就職、進学に伴う移動があり、新居契約や家電購入等、二重生活に因る支出を余儀なくされている。ただし、これらは人材への先行投資として理解している。
		食料品製造業（経営企画担当）	・ガソリンの値上げも進み、消費マインドは抑制方向に動いている。消費税の引上げも段々現実味を帯びてくるのに伴い、先行きには不安を感じる。
		食料品製造業（営業担当）	・消費者は買い控え傾向にある。販売数が伸びる要素が、今のところ見当たらない。
		化学工業（人事担当）	・医薬品業界においては多くの企業で早期退職制度を実施しており、現状から大きく好転するには画期的な新薬を開発することが必須である。
		化学工業（総務秘書）	・特段悪い要素が見当たらない。
		窯業・土石製品製造業（社員）	・型屋が忙しいのは、新規品の受注が堅調であることの表れで、今後景気が堅調に推移する。
		金属製品製造業（従業員）	・仕事量の心配は減っているが、受注価格が安い上、原材料は値上げされており、利益につなげるのが課題である。
		一般機械器具製造業（営業担当）	・引き合いは多いが、納期対応ができないため断っている状況である。これ以上良くなることを想像するのは難しい。
		電気機械器具製造業（営業担当）	・これまでと傾向は変わらない。
		電気機械器具製造業（企画担当）	・商品に対する問合せが活発化している。同業者でも働き方改革関連の需要喚起が盛んで、期待感が膨らんでいる。
		電気機械器具製造業（総務担当）	・設備投資は2020年の東京オリンピックまでは堅調に推移する。
		輸送用機械器具製造業（品質管理担当）	・結婚や出産に伴い金を使う人が多くなっている。
		輸送用機械器具製造業（総務経理担当）	・現在の円相場が続いている限り、現在の状態が続くが、米国が完成車の関税を引き上げるといっており、その影響がどのように出るかは分からない。
		輸送用機械器具製造業（管理担当）	・生産計画をみると横ばいが見込まれる。
		建設業（営業担当）	・小売受注等の契約で金額的には横ばいも可能だが、既存の浄化槽の契約者はどんどん減ってきており、増えることは基本的にない。相殺するなかで新事業に乗り出してはいるが、それが根付くまでにはまだ時間が掛かるので、どちらともいえない。
		輸送業（経営者）	・運転手不足や軽油価格の高騰はしばらく続くと見込まれ、多少の値上げでは利益減となる。
		輸送業（エリア担当）	・運送単価が上がっても、荷物量は想定ほど減少していない。外部委託費もコントロールできている。
	輸送業（エリア担当）	・このまま変わらずに推移する。	

	輸送業（役員）	・米国のエルサレムの問題を発端にして、我が国が石油を主に輸入している石油産油国の情勢不安から原油価格が高騰してきており、トラック業界はもとより石油関連産業、原料としているメーカー、自動車販売、車による旅行の手控え等、今後景気にじわじわと影響が及ぶのではないかと懸念している。物流業界では、前年の大手運輸業者の問題から業界の人手不足感が浸透し、従来に比べて運賃改定への理解が得られやすい環境になってきている。これまでより影響は小さいが、景気の後退は心配である。また、一般ドライバーのガソリンの節約志向が高まることによる影響も緩やかに出てくる。
	輸送業（エリア担当）	・燃料の軽油価格が前年比で1リットル当たり11円高く推移している。運賃値上げについては、僅かだが値上げを受け入れてくれる客が出てきている。
	輸送業（エリア担当）	・景気のパロメーターの一つに、客からの荷物の問合せがあるが、問合せ件数がそれほど増加していない。運賃は上昇しているが、それはあくまでも運送会社側のコスト増加分の転嫁であるので、景気の上下には関係ない。
	通信業（法人営業担当）	・今月が異例な好調ぶりであり、この先は、特需がない限り提案、受注数は落ち込む予想だが、ここ1か月間の提案数は例年より多く、これが受注に結び付けば、現状がキープできる見込みである。
	通信業（法人営業担当）	・景気回復の不安材料として、原油高、米朝会談の行方、米大統領の日本、中国やEUに対する関税の大幅アップによる世界経済への影響が未知数である。
	金融業（企画担当）	・個人投資家の含み益が増えたり、個人投資家以外でも給与が増えてくると消費に向かい景気が良くなるが、現状はそのような状況にない。
	不動産業（経営者）	・6月は例年と比較して晴天の日が少ないが、7月は例年同様に晴天の日が多くなるとの予報であり、当面の景気は良い状態が継続し、売上は前年同月比100%以上で推移する。
	不動産業（用地仕入）	・特段のトピックスはない。
	広告代理店（制作担当）	・夏に向けての引き合いが企業側から余りないため、受注量が多少アップしても全体的には期待できない。
	新聞販売店〔広告〕（店主）	・折込広告が安定している。
	行政書士	・現状維持である。
	公認会計士	・中堅・中小企業の業績回復に影響する要因が見当たらない。
	会計事務所（職員）	・好調な会社は、昇給ではなく決算ボーナスを支給する傾向にある。4月の昇給も、率としては2%前後で手取り額はさほど変わっておらず、大きく消費に回ることはない。
	会計事務所（職員）	・異常気象、政局等の大きな変化がなければ変わらない。
	その他サービス業〔ソフト開発〕（社員）	・現在の案件が落ち着く9月以降でないといと生産体制が取れないので、次の案件に着手できない。
	その他非製造業〔ソフト開発〕（経営者）	・景気の変動はいつものことで、米国の長期金利も上昇が一部止まり、国内でも大きな動きはない。銀行の経営もなかなか厳しく、取引先以外の銀行も営業に来る。
	パルプ・紙・紙加工品製造業（顧問）	・2～3か月先は夏季に入る。取引先からも良い情報がなく、受注量も余り期待はもてず、景気はやや悪くなる。
	出版・印刷・同関連産業（営業担当）	・景気が良くなるような材料がない。やはり中小企業にはまだまだ厳しい。
	鉄鋼業（経営者）	・先行きの案件の不足と鉄鋼メーカーの前年からの市場動向を無視した勝手な値上げに需要側が冷淡に対応しているため、市場は冷え込んでいる。
	金融業（従業員）	・自動車産業等において、先行きの生産等については例年に比べて良い動きはなく、やや悪くなる。ハイブリッドや電気自動車等については例年どおり、又は若干良い可能性もあるが、全体的にみると余り良くない。仮想通貨等の話で全般的に盛り上がっている。
	× 電気機械器具製造業（経営者）	・客先の業界全体が悪いなかで、当社の取引先も思わしくなく、当社製品の売上が減少するため見通しは良くない。
雇用 関連	人材派遣会社（社員）	・第2四半期に入り、求人数が多くなってくる。
	人材派遣会社（社員）	・5月が悪すぎたので良くなる。予約状況は例年並みである。
(東海)	人材派遣会社（営業担当）	・これまで自動車に関連が薄かった企業も積極的に自動車事業に参入し始めており、それに合わせた予算確保や投資計画を打ち出している。こういった背景により、2～3か月後に確実に景気が良くなるとまではいい難いが、産業界には良い影響があり、景気はやや良くなる。

	アウトソーシング企業 (エリア担当)	・自動車産業において、7月以降徐々に生産数の増加が予想される。そのため、雇用者を確保する動きもみられる。
	民間職業紹介機関(営業担当)	・6月のボーナス支給後を狙った転職希望者が増えてくる。
	人材派遣業(営業担当)	・留学生を含む外国人採用が活性化し、かつ安定化するまではなかなか好転しない。
	人材派遣会社(営業担当)	・人材の動きについて、各企業の採用が落ち着きこの先数か月は大きな変動はない。
	人材派遣会社(営業担当)	・ポジティブな要素が見当たらない。
	人材派遣会社(企画統括)	・変化する要因が特に見当たらない。
	職業安定所(所長)	・残業抑制や有給休暇取得を促進することで、従業員の負荷は軽減されつつあるが、新たな人員の確保が進まないため、その分、生産量や販売額が伸びないことから、利益の上昇が余り見込まれない。
	職業安定所(所長)	・求職者数の変化はなく、大きく変わる要素がない。
	職業安定所(職員)	・求人数は高水準を維持しているが、非正規社員が多く、正社員の割合は低下を続けている。
	職業安定所(次長)	・企業活動は好調を維持するが、人手不足はより深刻化する。
	民間職業紹介機関(窓口担当)	・人材の依頼は変わらず好調だが、求職者の活動がおおむね落ち着く時期となり、需要と供給のバランスが悪くなり伸び悩む。
	民間職業紹介機関(支社長)	・中途採用人数は相変わらず高位で安定している。
	人材派遣会社(支店長)	・当地区においても各企業でロボットによる自動化が導入され始めており、これまで派遣社員が行っていたデータ入力や転記作業等の業務のロボット移管が進んでいく。働き方改革関連法案が可決されると、同一労働同一賃金により派遣社員のコスト上昇圧力が強まるため、派遣業界にとっては更に厳しい状況となっていく。
	職業安定所(次長)	・原油高が、雇用や経済に影響を及ぼすものと考えられる。
x	新聞社[求人広告] (営業担当)	・人手不足が理由による倒産が増える。